

中務 紀美 先生 公開講演会のお知らせ

テキサス工科大学の中務紀美氏による「教室内での第一言語使用について～言語学習効果を高めるために～」という講演会を行います。現在、高等学校に続いて、中学校でも「授業は英語で行うことを基本とする」という方針が検討されています。授業を英語で行えば効果は高いのでしょうか。教師は第一言語（日本語）をいつ、どのように使えば効果的なのでしょうか。このような問題に対して、最新の第二言語習得研究の知見に基づいて、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

1. 日程： 7月12日（日）14:00 ～ 16:00

2. 場所： 宮城教育大学（仙台市青葉区荒巻字青葉149番地）2号館231教室

3. 対象者： 小・中・高等学校及び大学の英語教育に関心をお持ちの方

4. 参加費： 無料

5. 申込方法及びお問い合わせ先：

お名前、ご所属、お電話番号（差し支えなければ携帯番号）、E-mail アドレスをご記入いただき、m-tozuka@staff.miyakyo-u.ac.jp（小学校英語教育研究センター事務補佐員 戸塚真愛）までご連絡をお願いします。

6. 申込締め切り：平成27年7月3日（金）必着

7. 講演者：

中務氏は、上智大学を卒業後、アメリカのジョージタウン大学で修士号、ミシガン州立大学で博士号を取得し、現在テキサス工科大学言語学科助教。中務氏の研究は第二言語習得におけるタスク中心の教授法、特に、教師のジェスチャー、第一言語の役割、生徒の学習観で、これまでの研究は『Language Teaching Research』、『Modern Language Journal』、『Innovation in Language Learning and Teaching』等に掲載されている。